

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

阿見町 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	阿見町では、町のPRと地域活性化を目的に、町公式マスコットキャラクターを公募し、町民投票により勝矢夢子(かつや ゆめこ)さん(町内在住)の原案「あみっぺ」に決定しました。	2
2	阿見町では、37ある正式競技の1つセーリング(ヨット競技)が、町内の霞ヶ浦で開催されました。	4
3	桜川の匂(におい)橋～霞ヶ浦総合公園～島津バス停の12.3キロメートルが「予科練ゆかりのみち」の名称で、島津バス停～霞ヶ浦湖岸～古渡(ふつと)橋の19.0キロメートルが「水の恵みを知るみち」の名称で、それぞれ「首都圏自然歩道関東ふれあいの道」に指定されています。	2
4	阿見浄水場は、阿見町、土浦市、稲敷市、美浦村、河内(かわち)町の5市町への水道用水の供給と、51社54事業所への工業用水の供給を行っています。	1
5	阿見町の姉妹都市であるスーペリア市はアメリカ合衆国ウィスコンシン州にある都市です。1997年(平成9年)4月に姉妹都市となりました。	3
6	江戸時代の阿見町域には20を超える村々があり、大名や旗本など大小11人の領主によって支配されていました。なかでも、町域の半分以上支配していたのが仙台藩の伊達家で、現在の龍ヶ崎市内に陣屋がありました。	4
7	平成30年度の「予科練平和記念館」入館者数は、51,128人です。開館日数は308日で、日平均166人が利用しています。	2
8	下村千秋(しもむら ちあき)は、1893年(明治26年)朝日村に生まれました。子どもたちに優しさや夢をあたえる童話や、仕事がなく苦しい生活をとりえた社会小説、農村の貧しい生活を描いた農民小説など、幅広い文学作品を残しました。	3
9	筍(たけのこ)の「ほっぺちゃん」は、阿見町の竹林から生まれた可愛いキャラクターで、たけのこ料理フェアなどで活躍するメインキャラクターです。	2
10	ヤーコンを阿見町の特産品にしようと、1999年(平成11年)に町商工会の会員有志により結成された「ヤーコン味工房」の第1号商品が、生地にヤーコンの粉末を入れた「予科練の街クッキー」です。他に「ヤーこんどれっしんぐ」や「ヤーコンブッセ」などがあります。	3
11	日本海軍で最も使用された練習機で、正式名称は九三式中間練習機です。目立つようにオレンジ色に塗られたことから、別名 あかとんぼと呼ばれていました。	1
12	国道125号バイパス(中央～島津間)では、毎年9月に色とりどりのコスモスが咲き誇ります。活動に賛同する多くの個人・団体の協力により、現在のような街道になり、行き交う多くの人々がコスモス街道の景観を見ることが出来ます。	4
13	大正末期から昭和初期にかけて、航空技術の世界的発達によって、世界一周ブームが起こり、阿見町にも1929年(昭和4年)ツェッペリン伯号が立ち寄りました。	4
14	俳人 渡邊香墨(わたなべ こうぼく)は、正岡子規(まさおか しき)の門下として、短歌や俳句の作品づくりに励みました。渡邊香墨(31歳)の代表句として、霞ヶ浦周辺の情景を描いた「蓮池の縁を田舟の往来かな」などがあります。	2
15	国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定されている盆綱(ぼんづな)は、茨城県の霞ヶ浦周辺から千葉県印旛沼周辺にかけて濃密に分布する盆行事の1つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁(わら)で作った綱をひいて歩き、先祖の霊を送迎する行事です。	3
16	阿見町では、公共交通としてデマンドタクシー「あみまるくん」を運行しています。自宅や指定の場所から目的地まで、乗り合いにより送迎を行います。	1
17	阿見町には、追原(おっばら)地区にあるごみ処理施設・粗大ごみ処理施設の霞クリーンセンターと、若栗地区にある浸出水処理施設・埋立処分地のさくらクリーンセンターがあります。	4
18	阿見町には、「阿見音頭」と「新阿見音頭 花のまち夢のまち」があり、毎年、「まい・あみ・まつり」の盆踊りをしています。	2
19	現在の役場新庁舎は、1966年(昭和41年)8月に霞台(かすみだい)(現在:かすみ公民館敷地)から現在地の場所に移転しました。また、1985年(昭和60年)には庁舎を増築し、現在の役場の姿となりました。	3
20	1991年(平成3年)12月、おもちゃ用品専門店として、日本国内に第1号店「トイザラス」が阿見町荒川沖にオープンしました。2008年(平成20年)8月に荒川沖店は閉店となりましたが、トイザラスが全国へ広がるきっかけとなりました。	1
21	阿見町では「曙(あけぼの)のグミ」(阿見第一小地区)「蔵福(ぞうふく)寺の木造阿弥陀如来立像(もくぞうあみだによらいりゅうぞう)」(君原小地区)と「西光(さいこう)寺の薬師如来坐像(やくしによらいざぞう)」(吉原小地区)の3つが、県指定文化財に選定されています。	2
22	2019年(令和元年)5月1日現在、阿見町の人口は、47,695人です。ちなみに、阿見町の世帯数は20,550世帯となっています。	4
23	阿見町は、竹林の面積比率が茨城県で第1位です。阿見町では、2008年(平成20年)町に埋もれた観光資源を再発見・再価値化し観光振興のきっかけづくりを行い、新たな観光まちづくりをめざすべく発足した阿見町観光プロデュース会議の提言により、竹林と竹を生かした交流活動が始まりました。	1
24	阿見町のシンボル(木)に制定されている木は「サクラ」で、学校給食センターの食器に描かれています。1985年(昭和60年)11月1日に制定されました。	3
25	阿見町の町章は、「ア」を図案化し、3つの「ア」を組み合わせ阿見をあらわし、町の「和」と「発展」の姿を象徴したものです。	4

<阿見町章>

